



花巻市友好都市交流委員会の活動を紹介する情報誌です。題名は、ひらつか、とわだ、花巻の頭文字をとって名付けました。

令和元年度交流職員の内田さんにインタビューをしました

2月9日、令和元年度花巻市・平塚市交流職員だった内田吉美さんにオンラインでインタビューを行いました。内田さんは花巻にいる間、国際交流室で国内交流を担当し、現在は平塚市文化・交流課に勤務しています。インタビューでは、花巻での思い出や現在の平塚の状況など様々なことを話していただきました。



以下、インタビューの内容（※内：内田さん 事：事務局）

事：花巻での思い出は？

内：温泉です。観光協会で発行しているパンフレット「温泉三昧」を参考に休日は温泉巡りをしていました。「温泉三昧」に記載されている日帰りの温泉にはほとんど行きました。中でも一番好きなのは石鳥谷の「ぎんがの湯」で、トロトロしているお湯が気に入っています。泊まったことがあるのは、花巻温泉、藤三旅館、優香苑などで、家族も呼んで宿泊しました。1年という限られた期間だったため、積極的に行動するようにしていました。市のスポーツ教室にも参加したことがあります。また、平塚にないものを堪能しようと花巻の特産品をよく購入していました。「だあすこ」によく行き、いつも「きりせんしょ」を買っていました。

事：花巻市での経験を現在どのように活かしているか？

内：現在勤務している文化・交流課は花巻市の人と関わる機会が多く、当市で勤務していたときにできた人とのつながりがとても役に立っています。11月に平塚の「しまむらストアー」で行われたうまいもんフェアでは、勤務していた国際交流室だけでなく、秘書政策課や観光協会など、花巻で働いていた時にできた人脈を活かし、連絡を取りながら業務を行っていました。

事：花巻で過ごしてから気づいた平塚の好きなところは？

内：やはり温暖で過ごしやすい気候です。4月くらいになるとすぐに桜が咲きます。花巻では4月にもストーブをつけていましたが、こちらはとても暖かくて過ごしやすいです。

事：次に花巻に来る機会があったらやりたいことや参加したい行事は？

内：花巻にいた当時仕事で参加できなかった花巻まつりやわんこそば大会に参加したいです。花巻まつりは練習には参加しましたが、次は出る側として参加したいです。イーハトーブレディース駅伝には花巻に来る前に一度参加しましたが、また参加したいと考えています。平塚に戻ってから新型コロナウイルス感染症が流行し、2年ほど花巻に行くことができず残念です。自由に移動ができるようになって早く花巻に行きたいです。



以下の写真は内田さんが花巻で勤務していた時の様子です。



令和元年度交流キャンプ



令和2年わんこそば全日本大会

第37回友好都市いわて花巻の物産展が開催されました

毎年2月に開催していた、花巻観光協会主催の「友好都市花巻の物産と観光展」は、新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、ひらつか市民プラザでの通常開催は中止となり、今年も昨年に引き続きチラシによるお取り寄せにて2月10日から2月28日まで開催されました。

11月のうまいもんフェアでも人気があったアンニョンキムチのほか、「白金豚ラーメン・角煮缶詰セット」、果汁100%のジュース「花巻産リンゴジュース」など計13点が販売されました。やはり1番人気はアンニョンキムチとのことですが、菓子類も人気とのことで、力あんぱん、旨玉、よだかの星などが入った「花巻こびりセット」も好評だったそうです。



花巻こびりセット

昨年に引き続きわんこそば大会が中止となりました

毎年2月11日に行われている元祖わんこそば全日本大会ですが、昨年に引き続き今年も新型コロナウイルスの影響により中止となりました。例年であれば平塚市からは織り姫が、十和田市からは食士や応援団などたくさんの方に来花していただいておりますが、今年も残念ながら中止となってしまいました。



次回の発行は、6月を予定しています。

「花巻市友好都市交流委員会」の活動をHPで紹介しています。
<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/shisei/hanamakicity/shimaiyukotoshi/1002454.html>

